

**平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）**

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社スカパーJSATホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9412 URL http://skyperfectjsat.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 真治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 仁藤 雅夫 TEL 03-5571-1500  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

**1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）**
**(1) 連結経営成績（累計）**

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	124,195	5.3	16,987	32.6	16,970	33.4	10,155	29.7
25年3月期第3四半期	117,906	1.7	12,810	△13.2	12,718	△9.1	7,830	11.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 11,704百万円 (45.6%) 25年3月期第3四半期 8,037百万円 (13.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	30.43	—
25年3月期第3四半期	23.27	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して1株あたり四半期純利益を算定しております。

**(2) 連結財政状態**

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	275,705	185,331	67.1	600.11
25年3月期	290,486	192,693	66.2	571.33

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 184,962百万円 25年3月期 192,282百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	600.00	—	6.00	—
26年3月期	—	600.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成26年3月期(予想)期末の配当金については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

**3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）**

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,000	2.8	17,000	5.2	16,500	5.1	10,000	3.3	29.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	344,603,700株	25年3月期	344,603,700株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	36,387,600株	25年3月期	8,051,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	333,769,840株	25年3月期3Q	336,551,900株

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（株式分割について）

当社は、平成25年5月8日開催の取締役会において、株式の分割及び単元株制度の採用について決議し、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株へ分割し、単元株数を100株といたしました。これに伴う平成26年3月期の配当予想及び連結業務予想については、該当項目をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成26年2月6日に証券アナリスト、機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が持ち直しに向かう中で国内においても公共投資が底堅く推移していることや企業収益が改善していること等の理由から、緩やかに回復しつつあります。

このような経済状況の下、当社グループは、有料多チャンネル事業におけるスカパー！サービスを中心とした顧客獲得施策や、スカパー！プレミアムサービスでのハイビジョンを中心としたH.264方式によるサービス（以下「ハイビジョンサービス」）への加入者移行、宇宙・衛星事業における企業・官公庁のBCP（事業継続計画）向けソリューションの提供やグローバルビジネスの強化、移動体衛星通信ビジネスの拡大に積極的に取り組むなど、中長期的な成長戦略を着実に推進いたしました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は次のとおりとなりました。

区 分	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増 減 率 (%)
営 業 収 益	117,906	124,195	6,289	5.3%
営 業 利 益	12,810	16,987	4,176	32.6%
経 常 利 益	12,718	16,970	4,251	33.4%
税金等調整前四半期純利益	12,736	17,034	4,298	33.7%
四 半 期 純 利 益	7,830	10,155	2,324	29.7%

#### ①営業収益

営業収益は、視聴料収入の増加等により、前年同四半期比6,289百万円増の124,195百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。

#### ②営業利益

営業利益は、番組供給料等が増加したものの、営業収益が増加した影響により、前年同四半期比4,176百万円増の16,987百万円（前年同四半期比32.6%増）となりました。

#### ③営業外損益及び経常利益

営業外損益は、営業外収益が前年同四半期比99百万円増の549百万円、営業外費用が前年同四半期比24百万円増の566百万円となり、純額で17百万円の損失となりました。この結果、経常利益は前年同四半期比4,251百万円増の16,970百万円（前年同四半期比33.4%増）となりました。

#### ④特別損益及び税金等調整前四半期純利益

特別損益は、特別利益が投資有価証券売却益等により75百万円、特別損失が10百万円となったことから、純額で64百万円の利益となりました。この結果、税金等調整前四半期純利益は前年同四半期比4,298百万円増の17,034百万円（前年同四半期比33.7%増）となりました。

#### ⑤法人税等合計及び四半期純利益

法人税等合計は、過年度に計上した投資有価証券評価損の一部を損金に算入した前年同四半期に比べ2,085百万円増の6,912百万円となりました。この結果、四半期純利益は前年同四半期比2,324百万円増の10,155百万円（前年同四半期比29.7%増）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は次のとおりです。（業績については、セグメント間の内部営業収益等を含めて記載しております。）

#### <有料多チャンネル事業>

##### (加入者獲得に向けた取り組み)

加入者獲得の施策として、平成25年10月5日から10月14日まで『10日間無料放送』を実施いたしました。今回の10日間無料放送では、JリーグのJ1・J2全試合の無料放送を始め、スカパー！ならではの様々なジャンルのラインナップに加え、視聴者の皆様をご覧になりたいと思われる番組ラインナップを提供いたしました。

また、平成25年12月21日に『ココロ動く、未来へ～スカパー！アワード2013～』を放映し、未加入者の方への無料放送を通じて、加入者基盤拡大を推進いたしました。

##### (「スカパー！プレミアムサービス」のハイビジョンサービスへの移行)

当社グループは「スカパー！プレミアムサービス」（一部チャンネルを除く）のMPEG-2方式による標準画質サービスを平成26年5月に終了することを決定し、MPEG-2方式による標準画質サービスの既存加入者をハイビジョンサービスに移行することを最優先課題とし、「スカパー！プレミアムサービス」の加入者基盤の維持、拡大を推進しております。

当第3四半期連結累計期間におけるハイビジョンサービスへの移行件数は252,167件、累計加入件数は1,240,660件になりました。

(ビデオ・オン・デマンドサービスの取り組み)

マルチデバイス対応型オンデマンドサービス「スカパー！オンデマンド」につきましては、既存有料放送加入者への付加価値サービスとしての機能を拡充しつつ、オンデマンドサービス独自の新規会員獲得も視野に、積極的な取り組みを行っております。

ジャパンケーブルキャスト株式会社の関連会社である株式会社J.COTTが提供するケーブルテレビ向けOTT（スマートTV）サービス「COTT」を経由して、ケーブルテレビ加入者に向けてスカパー！のVODサービス「スカパー！オンデマンド」を提供することが決定いたしました。

(新規事業開発への取り組み)

総務省による「放送サービスの高度化に関する検討会」において策定されたスーパーハイビジョン（4K/8K）ロードマップ推進の一環として、一般社団法人次世代放送推進フォーラムと共同で平成25年11月2日に「アリスコンサートツアー2013 It's a Time ファイナル in 武道館」の衛星伝送による4Kライブビューイングを開催いたしました。今後も「スカパー！プレミアムサービス」の標準画質サービス終了後に空くトランスポンダ（電波中継器）を利用した4K放送の早期実現に積極的に貢献してまいります。

また海外、特にアジア諸国に向けた放送、コンテンツ展開の一環として、ベトナム国内最大手のスポーツチャンネルを運営する番組供給事業者である「Vietnam Football Media JSC」と共同で、Jリーグの試合2試合を、ベトナム国内で生中継いたしました。

当第3四半期連結累計期間における加入件数は次のとおりとなりました。

新規加入件数	再加入件数	解約件数	純増数	累計加入件数
355,709件	60,537件	539,718件	△123,472件	3,705,937件

新規加入件数は、前年同四半期比99,069件減の355,709件、解約件数は前年同四半期比16,448件増の539,718件となり、再加入件数を加えた純増数は前年同四半期比110,223件減の△123,472件、累計加入件数は3,705,937件となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の有料多チャンネル事業の業績は次のとおりとなりました。

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益				
外部顧客への営業収益	81,788	88,185	6,396	7.8%
セグメント間の内部営業収益等	3,510	3,527	16	0.5%
計	85,298	91,712	6,413	7.5%
セグメント利益	470	2,661	2,190	465.3%

営業収益は、視聴料収入の増加等により、前年同四半期比6,413百万円増の91,712百万円（前年同四半期比7.5%増）となりました。セグメント利益は、番組供給料等が増加したものの、営業収益の増加により前年同四半期比2,190百万円増の2,661百万円（前年同四半期比465.3%増）となりました。

#### <宇宙・衛星事業>

(国内BCP需要への対応)

東日本大震災以降、災害対策・事業継続計画（BCP）対策としての衛星通信の評価が再び高まっており、官公庁を中心にその需要が拡大しております。当社グループは現在、国内BCP需要への対応としてEsBirdやExBird等の衛星ソリューションサービスの積極的な販売を展開しております。平成25年10月には東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、および西日本高速道路株式会社の3社向け次期衛星サービスを受注しました。平成27年上期の利用開始を目指し、設備導入を進めてまいります。

(海外衛星ビジネスの拡大)

海外市場においては、アジアを中心とするグローバル市場への拡大を積極的に推進しております。平成24年5月に打ち上げに成功した通信衛星「JCSAT-4B」の衛星回線を利用して、平成25年9月にはインドネシアのLIPPOグループによる同国内向けの衛星放送（DTH）事業「BiG TV」が放送を開始いたしました。

また北米及びアジア・太平洋地域における米国政府機関向けのトランスポンダ提供も拡大しております。

(移動体衛星通信ビジネス)

前連結会計年度に引続き、船舶向けインターネット接続サービス「OceanBB」や米国Panasonic Avionics社が

提供している航空機内ネット接続サービス「eXConnect」での当社衛星回線利用などにより、移動体衛星通信ビジネスを拡大させております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の宇宙・衛星事業の業績は次のとおりとなりました。

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益				
外部顧客への営業収益	36,117	36,010	△107	△0.3%
セグメント間の内部営業収益等	4,971	6,221	1,249	25.1%
計	41,089	42,231	1,142	2.8%
セグメント利益	12,810	14,735	1,924	15.0%

営業収益は、国際サービス収入の増加等により前年同四半期比1,142百万円増の42,231百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は前年同四半期比1,924百万円増の14,735百万円（前年同四半期比15.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は275,705百万円となり、前連結会計年度末に比べて14,780百万円減少いたしました。主な増加は仕掛品5,113百万円であり、主な減少は現金及び預金6,623百万円、有形固定資産及び無形固定資産5,156百万円、有価証券3,998百万円等であります。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は90,374百万円となり、前連結会計年度末に比べて7,418百万円減少いたしました。主な増加は未払法人税等2,327百万円であり、主な減少は未払金6,053百万円、1年内返済予定の長期借入金4,020百万円等であります。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における少数株主持分を含めた純資産は185,331百万円となり、前連結会計年度末に比べて7,362百万円減少いたしました。主な増加は四半期純利益10,155百万円であり、主な減少は自己株式の取得15,244百万円、剰余金の配当金の支払4,038百万円等であります。また、自己資本比率は67.1%となり、前連結会計年度末と比べて0.9ポイント増加いたしました。

### (キャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益17,034百万円に加え、減価償却費18,364百万円及びのれん償却額658百万円等により、26,612百万円の収入（前年同四半期は29,034百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出14,529百万円等により、11,466百万円の支出（前年同四半期は11,069百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出15,252百万円及び長期借入金の返済による支出10,367百万円等により、26,017百万円の支出（前年同四半期は16,014百万円の支出）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて10,622百万円減少し、63,850百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、平成25年5月8日公表の「平成25年3月期決算短信」に記載の連結業績予想を変更していません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	42,478	35,854
売掛金	19,793	18,151
有価証券	31,994	27,995
番組勘定	3,482	1,548
商品	215	751
仕掛品	178	5,292
貯蔵品	440	458
未収入金	597	361
繰延税金資産	1,354	784
短期貸付金	2,114	2,387
その他	2,497	3,453
貸倒引当金	△715	△637
流動資産合計	104,431	96,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,938	11,241
機械装置及び運搬具（純額）	19,757	19,411
通信衛星設備（純額）	100,532	90,553
土地	3,041	3,041
リース資産（純額）	2,623	1,301
建設仮勘定	669	9,195
その他（純額）	3,194	3,174
有形固定資産合計	141,758	137,918
無形固定資産		
のれん	7,970	7,311
ソフトウェア	4,368	3,730
その他	121	101
無形固定資産合計	12,460	11,143
投資その他の資産		
投資有価証券	19,634	19,405
繰延税金資産	7,609	8,186
その他	4,644	2,698
貸倒引当金	△52	△49
投資その他の資産合計	31,835	30,240
固定資産合計	186,055	179,303
資産合計	290,486	275,705

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	783	609
1年内償還予定の社債	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	12,256	8,235
未払金	15,460	9,407
未払法人税等	2,451	4,778
視聴料預り金	10,233	9,821
賞与引当金	477	257
資産除去債務	300	315
その他	9,365	10,881
流動負債合計	51,329	64,307
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	17,142	16,790
繰延税金負債	892	1,111
退職給付引当金	3,729	3,912
役員退職慰労引当金	6	6
資産除去債務	1,985	2,090
その他	2,707	2,155
固定負債合計	46,463	26,066
負債合計	97,793	90,374
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	158,193	158,193
利益剰余金	27,881	34,224
自己株式	△3,883	△19,128
株主資本合計	192,191	183,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	858	1,054
繰延ヘッジ損益	367	1,089
為替換算調整勘定	△1,135	△470
その他の包括利益累計額合計	90	1,673
少数株主持分	410	368
純資産合計	192,693	185,331
負債純資産合計	290,486	275,705



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業収益	117,906	124,195
営業原価	78,253	80,081
営業総利益	39,652	44,114
販売費及び一般管理費	26,841	27,127
営業利益	12,810	16,987
営業外収益		
受取利息	280	298
受取配当金	52	57
持分法による投資利益	55	—
為替差益	8	103
その他	51	89
営業外収益合計	449	549
営業外費用		
支払利息	517	484
持分法による投資損失	—	64
その他	24	17
営業外費用合計	541	566
経常利益	12,718	16,970
特別利益		
投資有価証券売却益	—	74
新株予約権戻入益	22	—
その他	—	1
特別利益合計	22	75
特別損失		
固定資産売却損	3	4
投資有価証券償還損	—	6
特別損失合計	3	10
税金等調整前四半期純利益	12,736	17,034
法人税、住民税及び事業税	4,652	7,353
法人税等調整額	174	△440
法人税等合計	4,827	6,912
少数株主損益調整前四半期純利益	7,909	10,122
少数株主利益又は少数株主損失(△)	78	△33
四半期純利益	7,830	10,155

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,909	10,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112	192
繰延ヘッジ損益	57	706
為替換算調整勘定	△57	665
持分法適用会社に対する持分相当額	16	18
その他の包括利益合計	128	1,582
四半期包括利益	8,037	11,704
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,959	11,737
少数株主に係る四半期包括利益	78	△33

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,736	17,034
減価償却費	19,403	18,364
のれん償却額	658	658
受取利息及び受取配当金	△332	△356
支払利息	517	484
持分法による投資損益(△は益)	△55	64
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△74
投資有価証券償還損益(△は益)	—	6
売上債権の増減額(△は増加)	378	1,729
番組勘定の増減額(△は増加)	3,124	1,934
未収入金の増減額(△は増加)	3,005	235
たな卸資産の増減額(△は増加)	△113	△5,668
未払金の増減額(△は減少)	△5,626	△6,057
視聴料預り金の増減額(△は減少)	△3,183	△412
前受収益の増減額(△は減少)	4,580	3,466
その他	1,308	292
小計	36,402	31,701
利息及び配当金の受取額	317	303
利息の支払額	△477	△460
法人税等の支払額	△7,209	△4,931
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,034	26,612
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10,707	△13,490
無形固定資産の取得による支出	△1,664	△1,038
投資有価証券の取得による支出	△0	△69
投資有価証券の売却及び償還による収入	541	2,278
関係会社株式の取得による支出	△969	△1,510
長期貸付金の回収による収入	1,938	2,364
その他	△208	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,069	△11,466
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,575	△1,844
長期借入れによる収入	—	5,483
長期借入金の返済による支出	△10,759	△10,367
自己株式の取得による支出	—	△15,252
少数株主からの払込みによる収入	350	—
配当金の支払額	△4,022	△4,026
少数株主への配当金の支払額	△6	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,014	△26,017
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	249
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,962	△10,622
現金及び現金同等物の期首残高	66,404	74,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	68,366	63,850

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年12月4日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結会計期間において、自己株式を28,335,800株、15,244百万円取得いたしました。なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は36,387,600株、19,128百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	81,788	36,117	117,906	—	117,906
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	3,510	4,971	8,481	△8,481	—
計	85,298	41,089	126,388	△8,481	117,906
セグメント利益	470	12,810	13,281	△470	12,810

(注1) セグメント利益の調整額△470百万円には、セグメント間取引消去111百万円と、各報告セグメントに配分していない全社費用△582百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	88,185	36,010	124,195	—	124,195
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	3,527	6,221	9,748	△9,748	—
計	91,712	42,231	133,943	△9,748	124,195
セグメント利益	2,661	14,735	17,397	△409	16,987

(注1) セグメント利益の調整額△409百万円には、セグメント間取引消去149百万円と、各報告セグメントに配分していない全社費用△559百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。